

平成 29 年度

学位（博士）の授与に係る論文内容  
の要旨及び論文審査結果の要旨

(平成 29 年 9 月授与分)

北九州市立大学大学院  
社会システム研究科

## 目 次

学位番号	学位被授与者氏名	論文題目	頁
甲第95号	孫 悦	台湾原住民の歌謡研究 ―セデック族を中心に―	1

学位被授与者氏名	孫 悦 (そん えつ)
学位の名称	博士 (学術)
学位番号	甲第 95 号
学位授与年月日	平成 29 年 9 月 25 日
学位授与の要件	学位規則 (昭和 28 年 4 月 1 日文部省令第 9 号) 第 4 条第 1 項該当
論文題目	台湾原住民の歌謡研究 -セデック族を中心に-
論文題目 (英訳または和訳)	Studies on Folk Songs of the Taiwan Aborigines - A Case Study on the Seediq People -
論文審査委員	論文審査委員会委員主査： 北九州市立大学文学部 教授 博士 (文学) 鄧 紅 同審査委員： 北九州市立大学法学部 教授 法学博士 田村 慶子 同審査委員： 西南学院大学国際文化学部 教授 博士 (文学) 金縄 初美
論文審査機関	北九州市立大学大学院社会システム研究科
審査の方法	北九州市立大学学位規程 (平成 17 年 4 月 1 日大学規程第 96 号) 第 10 条各号の規定に基づく学位授与判定による
論文内容の要旨	<p>本論文はセデック族を研究の中心として、台湾原住民の歴史、文化、言語習俗、分布地域や伝統音楽を研究するものである。</p> <p>台湾原住民の民族文化は南島語族民族文化に属すると見られ、その伝統文化は音楽と深くかかわっている。民族音楽の観点から見れば、台湾原住民は多声族群で、その民謡は独特で、華麗な歌舞、にぎやかな音楽がなく、音楽活動においては歌唱に偏っているが、歌の形式や内容に重要な意義と豊富な文化価値が含まれている。とりわけ、パイワン族の主旋律低音唱法、プユマ族の分段式のカノン唱法、アミ族の重複な多声部唱法などがそれである。その中で、セデック族の伝統歌謡で最も顕著な特徴点は、お祭り曲の多声音楽(polyphony)である。</p> <p>本論文は、序章、第一章台湾原住民の伝統と音楽生活、第二章台湾原住民歌謡、第三章セデック族の習俗と音楽文化、第四章セデック族歌謡の分析、第五章現代社会における伝統芸能の継承について、おわりに、という構成になっており、先行研究を参照して台湾原住民の習俗と音楽文化について分析をしたうえで、セデック族を中心とした台湾原住民の歌謡文化の特徴や社会との関わり、及び現在直面する問題点などについて詳細に論述されている。</p>
論文審査結果の要旨	<p>日本統治時代の 20 世紀初頭から、民族学、民族音楽学或いは社会人文科学の観点における台湾原住民についての研究と報告は多数あるが、孫氏は、2008 年セデック族が台湾政府に第 14 番目の台湾原住民族に認定されてから、セデック族の文化を検討や研究する価値が一層重要になってきたことに着目した。その新しい着眼点に立ち、孫氏はセデック族を研究の中心として、台湾原住民族の歴史、文化、言語習俗、分布地域や伝統音楽を再考したうえで、台湾原住民音楽学術研究の中で、無視されてきたセデック族伝統歌謡について分析、考察を行なった。</p> <p>具体的には、(1) 孫氏は、まず、台湾原住民の歴史、風俗、生活習慣を論じた上で、原住民の伝統文化と音楽生活との関わりについて、主に以下 3 点の特徴を述べた。第一に、多くの原住民の生活の中心は粟耕作であり、これに関</p>

わる各民族の祭典に歌謡やダンスが付随すること、第二に、セデック族やタイヤル族など一部の民族において、「出草」とよばれる首狩りの儀式と関連があること、第三に道教（漢人系）、キリスト教（原住民系）と関わることが明らかになった。さらに先行研究を参考に台湾原住民歌謡の内容と形式、各自の特徴と差異などについて詳しく論述した。

（2）台湾原住民の日本統治時代を含む歴史や習俗に関する研究には蓄積があり、歴史学、文化人類学の分野における研究分野において一定の研究成果が出ているものの、音楽とそれをめぐる文化様相についての研究は、論文中に述べられている通り、日本統治時代の記録などを除いてきわめて少なかった。孫氏は、セデック族の音楽は生活の様々な側面を反映し、セデック族の社会と文化生活と深く関連性がある、さらにそれから生まれた歌謡タイプもすべて生活情景と関連づけて明らかにすることができる考えた。セデック族の音楽スタイルでは、特に祭祀時の楽曲「uyas kmeki 舞踊歌」を典型的な例として取り上げ、その音楽的特色を述べた。また、セデック族の伝統音楽は民族の文化生活、社会機能と密接な関係を持ち、歌謡タイプ毎に、特定の生活場面を表し、セデック族の多様な生活を反映していることを明らかにした。

（3）原住民の伝統文化は豊富だが、時代の変遷に伴って、人々に忘れられていく傾向がある。原住民族の音楽や文化は近代化の犠牲になって、次第に消えてなくなる可能性が高い。本論文はその現状に触れ展望と課題を示した。また、原住民族の音楽には人を引き付ける特徴があり、原住民音楽の保存は民族学と民族音楽学において非常に重要であるため、孫氏は音楽継承問題についても言及した。

（4）さらに、①民族学と民族音楽学の角度から原住民音楽を保存すること、②台湾原住民およびセデック族の文化が現代文化の影響を受け変容する状況或いは文化復興について取り上げた。その中で、文化保存活動には観光推進や経済振興の効果がみられるが、一方では外部の影響による儀礼の誇張や歪曲といった負の面も見られることを指摘し、文化保存において本来の文化特性と完全性を尊重すべきであると言及した。

また、歌謡文化の継承について、①母語教育、②民族歴史文献研究室における民族文化の保護、③民族口述歴史の還元と再建、④多元文化教育という4点に着眼し、保存方法とそれを取り巻く環境について具体的に論じた。最後に、生活形態の多元化と変化の中でみられる「舞台化」「演出化」といった今日の問題を指摘し、生活と歌謡に関する変化について継続的に研究することを今後の問題としている。

上記の如く、本論文は、セデック族を中心とした台湾原住民の歌謡文化をめぐると特徴や社会との関わり、及び直面する現在の問題点について、深い分析と考察を行なっている。本論文の全体的構成と内容は博士学位請求論文として十分なレベルを有していると思われる。

平成29年8月9日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-320演習室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が博士(学術)として十分な内容であると判定した。

平成 29 年度学位（博士）の授与に係る論文内容の要旨及び論文  
審査結果の要旨 第 22 号 （平成 29 年 9 月授与分）

発行日 2017 年 10 月

編集・発行 北九州市立大学 学務第一課

〒802-8577

北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号

電話 093-964-4021